

大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果

研究開発課題名:	虫こぶ形成昆虫由来生理活性ペプチド CAP を利用した新規バイオスティミュラントの汎用製品化
研究担当者(所属・役職・氏名)	京都府立大学 大学院生命環境科学研究科 教授 佐藤 雅彦

1. SCORE での活動目的

化学農薬や化成肥料の使用を低減することで、環境に負荷をかけずに安定的な食糧生産を行う環境保全型農業を実現するという SDGs の課題を解決するために、昆虫由来 CAP ペプチドという独自の技術シーズを新規バイオスティミュラントとして利用する技術を開発し、主に、「環境ストレスに対する耐性付与剤 としての商品化」、「カルス化促進および形質転換促進剤としての商品化仮説」、「発芽促進剤としての商品化仮説」の検証に取り組み、CAP ペプチドを用いたビジネスモデル仮説を策定するとともに、顧客ヒアリングを進めて、ビジネスモデルの現実化・高度化を図る。

2. 総合所見

事業化仮説と研究成果に基づき、農薬製造メーカーへのヒアリングと技術検証を通して市場ニーズを明確化し、新規 BS 剤スクリーニングシステムに高いニーズがあることを見出して、ビジネスモデルを構築した点を評価する。環境保全型農業を実現する技術として注目されている分野であり、事業化を実現することに期待する。

以上